



平成29年12月期 第1四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成29年5月10日

上場会社名 クックパッド株式会社
 コード番号 2193 URL <https://info.cookpad.com/>
 代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 岩田 林平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 犬飼 茂利男
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6368-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	3,660	△10.7	1,972	△4.9	2,428	34.4	1,517	35.7	1,517	40.0	1,462	62.0
28年12月期第1四半期	4,099	58.0	2,073	75.3	1,807	37.2	1,118	55.1	1,084	48.2	903	58.9

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
29年12月期第1四半期	14.16	14.11
28年12月期第1四半期	10.13	9.95

(注) 平成28年12月期第3四半期に、連結子会社であったセレクチュア株式会社の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外しました。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、平成28年12月期第1四半期以前においては、同事業を非継続事業に分類し、売上収益、営業利益及び税引前利益の金額は「EC事業」を除く継続事業のみの金額に組み替えて表示しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	23,534	21,340	21,342	90.7
28年12月期	24,419	20,939	20,941	85.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成29年12月期の1株当たり配当金は未定です。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しむに」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境等の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、平成29年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	107,174,400 株	28年12月期	107,157,600 株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	3,956 株	28年12月期	3,956 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	107,166,897 株	28年12月期1Q	107,018,004 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(6) 継続企業の前提に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の概況

2017年12月期第1四半期連結累計期間（2017年1月1日～2017年3月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2016年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	2017年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	前年同期比
売上収益（継続事業）	4,099	3,660	△10.7%
営業利益（継続事業）	2,073	1,972	△4.9%
税引前四半期利益（継続事業）	1,807	2,428	+34.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（全事業）	1,084	1,517	+40.0%

当社グループは創業以来、日本中の料理のつくり手の「今日何つくろう」という課題に対して向き合ってきました。昨年改めて今後の長期的な企業成長と当社グループが実現可能な社会的責任について真摯に向き合い、「毎日の料理を楽しむに作る」という企業理念に基づいて、目指していくべき事業領域の検討を行いました。当社グループが運営するレシピサービス「クックパッド」の圧倒的な強みとノウハウ、ユーザーベースを活かして今一度原点に戻り、日本のみならず世界中の料理のつくり手の「料理」に関する様々な課題解決にむけて、更に集中して事業展開を行うことが、当社グループの長期的な企業価値向上につながると判断しました。これにより、今後の方針にそぐわないグループ会社等の売却を実施し、「料理」に関する事業に集中できる環境の整備を行ってきました。その上で当面の期間を大きな成長のための事業基盤創りに再度注力する「投資フェーズ」と定め、サービス開発、ユーザーベースの獲得、ブランド構築に積極的に投資を行うことを決定しました。個人と社会と地球が抱える様々な課題を、料理をとおして見つけ、考え、解決し、これからの時代にふさわしい豊かさを「クックパッド」はつくっていくことを使命と考えています。

「クックパッド」の2017年12月期第1四半期の国内の平均月間利用者数は、前四半期（2016年10月～12月）と比較して282万人減少し、6,134万人（2017年1月～3月の訪問者をブラウザベースまたは端末ベースにより集計した月別平均）となりました。海外の平均月間利用者数についても前四半期（2016年10月～12月）と比較して321万人減少し、2,938万人（2017年1月～3月のGoogle Analyticsにより集計した月別平均）となりました。国内においては、日本の人口における月間利用者数の割合が高くなっており、季節性が顕著になってきていること、また主要検索エンジンによるアルゴリズムの変更等が月間利用者数に影響を及ぼしていると認識しています。なお、投稿レシピ数については前期末と比較して7万品増加し266万品と順調に増加しています。

海外においても国内と同様に、イベントによる季節性に加え、主要検索エンジンのアルゴリズム変更が影響しているものと推測しています。昨年第二本社と位置づけた英国のCookpad International Ltd. を中心として、今後も積極的に展開していきます。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における継続事業からの売上収益は3,660百万円（前年同期比10.7%減）となりました。これは主に連結子会社であった「株式会社みんなのウェディング」を売却したこと及び広告事業において、サービス開発を優先させるための販売枠の制限を行ったことによるものです。継続事業からの販売費及び一般管理費は1,578百万円（前年同期比14.3%減）となり、当第1四半期連結累計期間における継続事業からの営業利益は1,972百万円（前年同期比4.9%減）となりました。一方で、「株式会社みんなのウェディング」を売却したことにより金融収益が増加し、継続事業からの税引前四半期利益は2,428百万円（前年同期比34.4%増）、非継続事業も含めた親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,517百万円（前年同期比40.0%増）となりました。

なお、2016年12月期第3四半期に、連結子会社であったセレクトチャー株式会社の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外しました。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、2016年12月期第1四半期連結累計期間においては、同事業を非継続事業に分類し、売上収益、営業利益及び税引前四半期利益の金額は「EC事業」を除く継続事業のみの金額に組み替えて表示しています。

② セグメントの業績

セグメントの業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

事業別売上収益		2016年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	2017年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	前年同期比
インターネット・メディア事業		4,051	3,590	△11.4%
レシピ サービス 事業	会員事業	2,038	2,339	+14.7%
	広告事業	1,306	1,121	△14.1%
	買物情報事業	81	—	△100.0%
	その他	19	48	+151.0%
その他インターネット・メディア事業		604	81	△86.5%
その他事業		48	70	+45.3%
合計		4,099	3,660	△10.7%

・インターネット・メディア事業

当第1四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上収益は3,590百万円（前年同期比11.4%減）、セグメント利益は1,989百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

（レシピサービス事業）

国内及び海外で展開している「クックパッド」のレシピサービスの会員事業及び広告事業等の売上収益が含まれています。

当第1四半期連結累計期間における会員事業の売上収益は2,339百万円（前年同期比14.7%増）となりました。プレミアム会員数が増加したこと及び株式会社NTTドコモが運営する「dグルメ®」等のレベニューシェアを含む通信キャリアからの売上収益が増加したことによります。

当第1四半期連結累計期間における広告事業の売上収益は1,121百万円（前年同期比14.1%減）となりました。これは主にサービス開発を優先させるための販売枠の制限を行ったことによるものです。

（その他インターネット・メディア事業）

前連結会計年度末において、連結子会社であった「株式会社みんなのウェディング」を連結の範囲より除外しています。これに伴い、売上収益は81百万円（前年同期比86.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ884百万円減少し、23,534百万円となりました。このうち、流動資産は同523百万円減少し、20,541百万円となり、非流動資産は同361百万円減少し、2,993百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、現金及び現金同等物が1,299百万円増加したこと及び売却目的で保有する資産が1,645百万円減少したことによるものであり、非流動資産については、その他の金融資産が502百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,285百万円減少し、2,193百万円となりました。このうち、流動負債は同1,349百万円減少し、1,882百万円となり、非流動負債は同63百万円増加し、310百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動負債については、未払法人所得税等が1,228百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ400百万円増加し、21,340百万円となりました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上に伴い利益剰余金が446百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度残高より1,299百万円増加し、17,842百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、0百万円となりました。この主な要因は、税引前四半期利益2,428百万円を計上した一方で、法人所得税等の支払額2,009百万円が生じたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、2,452百万円となりました。この主な要因は、関連会社株式の売却による収入2,047百万円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,082百万円となりました。この主な要因は、配当による支払い1,071百万円が生じたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しむにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境等の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2017年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、開示を行っていません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	16,543,220	17,842,759
営業債権及びその他の債権	2,689,501	2,502,522
その他の金融資産	14,921	21,918
棚卸資産	19,497	28,743
その他の流動資産	151,399	145,213
売却目的で保有する資産	1,645,788	—
流動資産合計	21,064,327	20,541,155
非流動資産		
有形固定資産	318,086	311,822
のれん	995,056	1,228,711
無形資産	74,114	114,176
その他の金融資産	1,116,159	613,714
繰延税金資産	821,519	692,656
その他の非流動資産	29,999	32,384
非流動資産合計	3,354,934	2,993,464
資産合計	24,419,261	23,534,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	55,765	45,915
営業債務及びその他の債務	764,354	703,783
その他の金融負債	44,663	80,446
未払法人所得税等	2,034,560	806,509
その他の流動負債	332,897	246,194
流動負債合計	3,232,238	1,882,848
非流動負債		
借入金	44,219	36,481
その他の債務	—	17,135
その他の金融負債	57,511	111,972
引当金	145,317	145,389
非流動負債合計	247,047	310,977
負債合計	3,479,285	2,193,825
資本		
資本金	5,267,483	5,271,994
資本剰余金	5,264,030	5,268,541
利益剰余金	10,466,781	10,913,042
自己株式	△2,006	△2,006
その他の資本の構成要素	△54,735	△108,926
親会社の所有者に帰属する持分合計	20,941,554	21,342,645
非支配持分	△1,577	△1,851
資本合計	20,939,977	21,340,794
負債及び資本合計	24,419,261	23,534,619

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
継続事業		
売上収益	4,099,324	3,660,788
売上原価	△190,814	△108,670
売上総利益	3,908,511	3,552,118
販売費及び一般管理費	△1,840,634	△1,578,133
その他の収益	10,158	732
その他の費用	△4,813	△2,619
営業利益	2,073,221	1,972,098
金融収益	3,518	539,347
金融費用	△267,535	△82,455
持分法による投資損益(△は損失)	△2,123	—
税引前四半期利益	1,807,081	2,428,990
法人所得税費用	△684,672	△911,467
継続事業からの四半期利益	1,122,410	1,517,523
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益(△は損失)	△4,183	—
四半期利益	1,118,227	1,517,523
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,084,105	1,517,797
非支配持分	34,122	△274
四半期利益	1,118,227	1,517,523
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)		
継続事業	10.16	14.16
非継続事業	△0.03	—
基本的1株当たり四半期利益合計	10.13	14.16
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)		
継続事業	9.98	14.11
非継続事業	△0.03	—
希薄化後1株当たり四半期利益合計	9.95	14.11

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
四半期利益	1,118,227	1,517,523
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△215,197	△54,897
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△215,197	△54,897
税引後その他の包括利益	△215,197	△54,897
四半期包括利益	903,030	1,462,626
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	868,908	1,462,900
非支配持分	34,122	△274
四半期包括利益	903,030	1,462,626

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2016年1月1日時点の残高	5,230,172	5,106,560	10,597,299	△2,006	146,254	21,078,279	2,317,861	23,396,140
四半期利益	—	—	1,084,105	—	—	1,084,105	34,122	1,118,227
その他の包括利益	—	—	—	—	△215,197	△215,197	—	△215,197
四半期包括利益合計	—	—	1,084,105	—	△215,197	868,908	34,122	903,030
新株の発行	21,925	21,925	—	—	—	43,850	—	43,850
株式報酬取引	—	225	—	—	△14,206	△13,981	—	△13,981
配当金	—	—	△1,069,028	—	—	△1,069,028	—	△1,069,028
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	—	△21,988	—	—	—	△21,988	13,773	△8,215
所有者との取引額合計	21,925	162	△1,069,028	—	△14,206	△1,061,147	13,773	△1,047,374
2016年3月31日時点の残高	5,252,097	5,106,722	10,612,376	△2,006	△83,149	20,886,039	2,365,756	23,251,795

当第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2017年1月1日時点の残高	5,267,483	5,264,030	10,466,781	△2,006	△54,735	20,941,554	△1,577	20,939,977
四半期利益	—	—	1,517,797	—	—	1,517,797	△274	1,517,523
その他の包括利益	—	—	—	—	△54,897	△54,897	—	△54,897
四半期包括利益合計	—	—	1,517,797	—	△54,897	1,462,900	△274	1,462,626
新株の発行	4,511	4,511	—	—	—	9,022	—	9,022
株式報酬取引	—	—	—	—	706	706	—	706
配当金	—	—	△1,071,536	—	—	△1,071,536	—	△1,071,536
所有者との取引額合計	4,511	4,511	△1,071,536	—	706	△1,061,809	—	△1,061,809
2017年3月31日時点の残高	5,271,994	5,268,541	10,913,042	△2,006	△108,926	21,342,645	△1,851	21,340,794

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,807,081	2,428,990
非継続事業からの税引前四半期利益	△2,176	—
減価償却費及び償却費	78,121	28,088
金融収益及び金融費用(△は益)(注)	266,876	△518,616
持分法による投資損益(△は益)	2,123	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	298,693	199,442
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△281,074	△60,073
その他	51,967	△71,763
小計	2,221,611	2,006,068
利息及び配当金の受取額	3,540	3,449
利息の支払額	△928	△411
法人所得税等の支払額	△1,799,599	△2,009,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	424,625	81
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,671	△18,069
無形資産の取得による支出	△30,939	△45,292
投資の取得による支出	△350,694	—
投資の売却による収入	2,163	622,377
子会社の取得による支出	—	△157,138
関連会社株式の売却による収入(注)	—	2,047,000
その他	66	3,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△392,075	2,452,408

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△45,190	△16,299
新株の発行による収入	34,718	6,938
支払配当金	△1,069,028	△1,071,536
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△27,552	—
非支配株主からの払込みによる収入	13,500	—
その他	△1,208	△1,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,084,760	△1,082,186
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,052,210	1,370,304
現金及び現金同等物の期首残高	13,048,498	16,543,220
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△116,772	△70,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,879,516	17,842,759

(注) 売却目的で保有する資産の売却益及び売却による収入を含んでいます。

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 報告企業

クックパッド株式会社(以下、当社)は日本に所在する企業です。2017年3月31日に終了した3ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下、当社グループ)並びに関連会社に対する当社グループの持分により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定的基础

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

5. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。事業セグメントは、他の事業セグメントとの取引を含む、収益を稼得し費用を発生させる事業活動の構成単位です。

当社グループは、商品・サービス別の事業部及び子会社を置き、各事業部及び子会社は、取り扱う商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは、事業部及び子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「インターネット・メディア事業」を報告セグメントとしています。

「インターネット・メディア事業」は、料理レシピの投稿・検索サイト「クックパッド」を中心に、レシピサービス等を展開しています。

「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産婦人科を通じた妊産婦・乳幼児向けサービス等を展開しています。

なお、2016年12月期第3四半期に、連結子会社であったセレクトチャー株式会社の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外しました。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、前第1四半期連結累計期間においては、同事業を非継続事業に分類し、売上収益、営業利益及び税引前四半期利益の金額は「EC事業」を除く継続事業のみの金額に組み替えて表示しています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目

報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント インターネット・ メディア事業	その他事業	合計	調整額	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	4,051,088	48,236	4,099,324	—	4,099,324
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
計	4,051,088	48,236	4,099,324	—	4,099,324
セグメント利益又は損失(注)	2,098,383	△30,506	2,067,877	—	2,067,877
その他の収益・費用(純額)					5,344
営業利益					2,073,221
金融収益・費用(純額)					△264,017
持分法による投資損益					△2,123
税引前四半期利益					1,807,081

(注) セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しています。

当第1四半期連結累計期間（自 2017年1月1日 至 2017年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント インターネット・ メディア事業	その他事業	合計	調整額	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	3,590,705	70,083	3,660,788	—	3,660,788
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
計	3,590,705	70,083	3,660,788	—	3,660,788
セグメント利益又は損失(注)	1,989,781	△15,796	1,973,985	—	1,973,985
その他の収益・費用(純額)					△1,887
営業利益					1,972,098
金融収益・費用(純額)					456,891
税引前四半期利益					2,428,990

(注) セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しています。

6. 後発事象

該当事項はありません。

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。